

令和7年1月14日（火）

沖縄県保健医療介護部感染症対策課 感染症予防班

（マスコミ向け周知文書）

各位

インフルエンザの流行状況について ～インフルエンザ警報発令～

1 概要

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点からの報告数が、2025年第1週（12月30日～1月5日）に定点当たり37.04人（定点医療機関56カ所、報告数2,074人）となり、インフルエンザ警報の発令基準値である30人を超えましたので、インフルエンザ警報を発令します。

例年インフルエンザは1～2月に流行のピークを迎えることから、今後、更なる流行の拡大を抑えるため、マスコミの皆様には新型コロナウイルス感染症同様に、「手洗い」「咳エチケット」「換気」「予防接種」等の感染予防策の県民への周知について、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

2 インフルエンザの流行状況

感染症発生動向調査では、県内の56定点医療機関（小児科定点:32、内科定点:24）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約5,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

本県では、2024年第49週（12月2～8日）以降は増加傾向にあり、第51週（12月16～22日）に定点当たり10.43人（報告数584人）となり注意報が発令され、第1週（12月30日～1月5日）に定点当たり37.04人となり警報発令基準値の30人を超えました。

第1週に報告されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型が77.1%、B型が2.3%となっており、年齢別では、60歳以上が349人（16.8%）と最も多く、次いで20～29歳288人（13.9%）、40～49歳281人（13.5%）の順となっています。

第1週における保健所別の定点当たり患者報告数は、那覇市保健所が59.25人で最も多く、次いで南部保健所53.50人、八重山保健所40.33人、宮古保健所30.25人、北部保健所22.80人、中部保健所14.33人の順となっています。那覇市保健所、南部保健所、八重山保健所、宮古保健所で定点当たり報告数30人を超えています。

第1週は年末年始のため学級閉鎖等の措置は実施されていません。